












出前講座シナリオ





「知的障害や自閉症のある人への支援—避難場所編—」



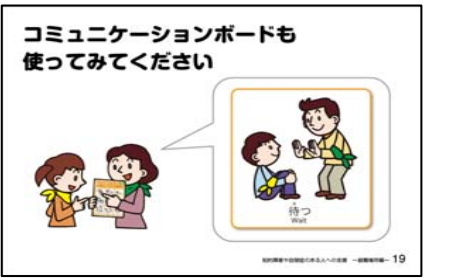

■当日用意するもの	*研修中に使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> ① パネル 32枚（又はパワーポイント） ② 黄色と緑のバンダナ（身に着ける）、黄色のリストバンド ③ メジャー ④ 疑似体験用インドネシア語の録音テープか CD と再生機器 ⑤ 文字盤 ⑥ コミュニケーションカード
	*配布物	<ul style="list-style-type: none"> ①講座の次第 ②災害用コミュニケーションボード趣意書 ③「わたしたちのこと知ってください 応援してください」（避難場所のみなさんへ編） ④災害用コミュニケーションボード ⑤「障害のある人への配慮」※救急隊用のチラシからの抜粋
	*講座後、必要に応じて紹介できる資料	<ul style="list-style-type: none"> ①障害団体が持ち込む紹介パンフ等 ②避難支援カード（横浜市作成） ③災害時要援護者支援ガイド（横浜市作成） ④自閉症の人たちのための防災ハンドブック（日本自閉症協会作成） ⑤その他
■当日の配慮	<p>*説明する人は緑と黄色のバンダナ着用</p> <p>*障害のある人達と地域の方をつなぐことが目的の講座です。 障害のあるご本人と一緒にできるような方法を工夫してください。</p>	





構成	パネル	シナリオ
<p>1 自己紹介</p>	<p>NO 1</p> <p>知的障害や自閉症のある人への支援 - 避難場所編 -</p> 	<p>みなさんこんにちは。本日は、お時間をいただき有難うございます。</p> <p>今日は、自閉症や知的障害の人のことを理解して頂き、災害時、避難場所で、どのように支援してもらいたいかを伝えるために伺いました。このような機会を通じて、知り合いを増やしたいと思っています。</p> <p>〇〇会の〇〇と、〇〇作業所の〇〇です。どうぞよろしくお願いします。</p>
<p>2 講座の目的</p>	<p>2</p> <p>災害が起きた時…</p> <p>障害のある人たちは 避難場所で過ごせるか とても不安です</p> 	<p>さて、災害時のことは皆さん、とても心配していると思います。障害のある人も、避難場所で皆と一緒に過ごせるか、大きな不安をもっています。</p> <p>※講演者が心配なことを具体的に補足して説明</p>
<p>3「知的障害」や「自閉症」のある人への支援</p> <p>(3-1手帳)</p>	<p>3</p> <p>知的障害者の手帳（療育手帳） をもっている方は…</p>  <p>横浜市では約 1 万 7 千人</p> <p>※全国に知的障害の人は約 100 万人 自閉症の人は約 120 万人と言われています</p>	<p>さて、横浜では約17,000人が「知的障害者の手帳」をもっています。手帳をおもちでない人達を含めると、知的障害の人は全国に約100万人、広い意味での自閉症の人は約120万人位いらっしゃると言われていています。自分のことを障害があると思っていない人もいます。</p>
<p>(3-2知的障害と</p>	<p>4</p> <p>知的障害とは…</p> <p>知的な発達の違いと 社会生活への適応のしにくさ</p>	<p>「知的障害のある人」は、知的な遅れと社会生活への適応のしにくさがあります。</p>





構成	パネル	シナリオ
(3-3 知的障害とは)	<p>5</p> <p>言葉を理解したり 使うことが苦手な人もいますが…</p> <p>絵や記号、写真等を使えば 意味を理解できる人や コミュニケーションを とれる人もいます</p>  <p><small>知的障害や自閉症のある人への支援 一級実用書 5</small></p>	<p>また、言葉を理解したり、使うことが苦手な人も多くいます。自閉症の人の中にも同様のことがあります。どのくらい苦手かは個人差があります。</p> <p>このように、言葉の理解が苦手でも、それを補う方法もあります。たとえば、絵や記号、写真等を使えば意味を理解できる人やコミュニケーションをとれる人もいます。</p>
(3-4 コミュニケーションボードとは)	<p>6</p> <p>コミュニケーションボードとは</p>  <p>絵や記号、写真等を使って、言葉での コミュニケーションの難しさを補うもの</p> <p><small>知的障害や自閉症のある人への支援 一級実用書 6</small></p>	<p>「コミュニケーションボード」は、そうした人に使っていただくために作りました。目の悪い人にとってのメガネのようなものです。絵や記号、写真等を使って、言葉でのコミュニケーションの難しさを補うものです。</p>
(3-5 セーフティーネットプロジェクト横浜)	<p>7</p> <p>「コミュニケーションボード」は 「セイフティーネットプロジェクト横浜」 が作成しました</p> <p>障害のある人や 家族、支援者などでつくれた 団体です (趣意書参照)</p>  <p><small>知的障害や自閉症のある人への支援 一級実用書 7</small></p>	<p>コミュニケーションボードとチラシは、「セイフティーネットプロジェクト横浜」という団体が作りました。</p> <p>障害のある人や家族、支援者などで作った団体です。資料の中に「趣意書」があるので、あとご覧ください。</p>
(3-7 様々なところで使われ始めたコミュニケーションボード)	<p>8</p> <p>「コミュニケーションボード」とは</p> <p>コミュニケーションボードは、学校や交通機関、お店、交番などで使われ始めています</p>  <p><small>知的障害や自閉症のある人への支援 一級実用書 8</small></p>	<p>コミュニケーションボードは、学校や交通機関、お店、交番などで使われ始めています。外国人やご高齢の人等も利用されることがあるそうです。</p>




構成	パネル	シナリオ
<p>4 擬似体験</p> <p>* 言葉でのコミュニケーションが難しいということ</p>	<p>9</p> <p>「言葉によるコミュニケーションの難しさ」とは？</p> <p>【体験してみましょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のわからない外国を旅行中 ・大きな地震が発生し、たどり着いた避難場所で… 	<p>さて、知的障害の人の「言葉によるコミュニケーションの難しさ」とは、どういうことでしょうか。言葉のわからない外国に行った時のことが例えられるので、ここで少しだけ体験してみましょう。参加者のどなたかお1人、前に出てきてください。</p> <p>※お1人、前に出てきていただく。 「外国を旅行していて、大きな地震が発生しました。ホテルの人の誘導で、あなたはなんとか避難場所にたどり着きました。そこにこんな放送が流れました。」</p>
<p>(4-2 外国の避難場所で)</p>	<p>10</p> <p>外国の避難場所で…</p> 	<p>※カセットテープに録音したアナウンスが2回流れる。 Dari Sekarang ,air minum dan roti akan dibagikan . Diharap keluar darigedung dan ditunggu</p> <p>周りの人たちはいきなり立ち上がり、外に行ってしまいました。 ※インドネシア語(単語)で講演者が参加者へ話しかける。 「のむ : minum(ミヌン)」「たべる : Makan(マカン)」「移動する : Pindah(ピンダツ)」…と試してみる。</p> <p>どうですか？言葉が理解できない状況では、何をどうすればよいのかわからずに不安になりますよね？</p>
<p>(4-3 コミュニケーションボードを使ってみる 「水」 「食べ物」 「移動する」</p>	<p>11</p> <p>コミュニケーションボードのイラスト</p> 	<p>ここで、コミュニケーションボードを使ってみます。</p> <p>※コミュニケーションボードの「のむ」、「たべる」「移動する」を指さす。 ※ジェスチャーもする。</p> <p>いかがでしょうか、何を伝えようとしたかわかりますか？ ※前に出ていた参加者へ質問し、答えていただく。</p>
<p>(4-4 放送内容のこたえ)</p>	<p>12</p> <p>放送の内容</p>  <p>「これから水と食べ物を配ります。体育館を出てお待ちください」</p>	<p>さて、今流したテープはインドネシア語です。</p> <p>内容は、「これから、水と食べ物を配ります。体育館を出てお待ちください。」でした。少し極端な場面を経験していただきました。</p> <p>言葉以外の手がかりがあることで、コミュニケーションがとりやすいことを少し感じていただけたと思います。</p>

構成	パネル	シナリオ
<p>5災害が起きた時に お願いしたいこと</p>	<p>13</p>	<p>災害がおきたときに お願いしたいこと</p>  <p>それでは、知的障害や自閉症を中心に、障害の特徴や避難場所で支援いただきたいことを改めて紹介させていただきます。</p>
<p>(1)何か困っている みたい</p> <p>(5-1 黄色と緑の バンダナ)</p>	<p>14</p>	<p>黄色と緑のバンダナ</p> <p>黄色 : 支援してほしい人 緑色 : 支援ができる人</p>  <p>私達は障害があって「支援してほしい人」は黄色を、「支援ができる人」は緑のものを身につけることを提案しています。イラストでは、黄色のバンダナを身につけています。また、黄色のリストバンドなどをつけている人もいるかもしれません。</p> <p>※講演者はコミュニケーションボードの現物を見せながらこのコミュニケーションボードやバンダナは地域防災拠点や特別避難場所にサンプルを置いてあります。</p>
<p>(5-2 キョロキョロ... ↓ 声をかけてください)</p>	<p>15</p>	<p>また、避難場所で キョロキョロしたり、困っているような人がいたら...</p> <p>キョロキョロしたり、 困っているような人がいたら...</p> <ul style="list-style-type: none"> ○声をかけてください ○具体的にゆっくりと 伝わっているか確かめながら 訊ねてください  <p>まず声をかけてください 具体的にゆっくり話してください。伝わっているか確かめながら何に困っているのか訊ねてください。</p>
<p>(5-3 ↓ コミュニケーション ボードを使ってみて ください)</p>	<p>16</p>	<p>言葉のやりとりでは、うまく伝わらない場合は、先ほどやってみたように、コミュニケーションボードも使ってみてください。絵を指さしてやりとりしてみてください。</p> <p>キョロキョロしたり、 困っているような人がいたら...</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションボードも 使ってみてください 

構成	パネル	シナリオ
<p>具体的なコミュニケーションボードの使い方 (5-4 迷子かな?)</p>	<p>17</p> 	<p>たとえば a避難場所で黄色いバンダナをつけて、キョロキョロしながら、さまよっている人がいます。その人は黄色色のバンダナをつけています。どうも家族とはぐれて迷子になってしまったようです。</p>
<p>(5-5シーン① 迷子かな? ↓ オウム返し)</p>	<p>18</p> 	<p>b「ここで待っていてね。」(静かな声で:緑のバンダナを付けた人)と言うと c「ココデマッテイテネ」(黄色のバンダナの人)とオウム返しの答えが返ってきました。よくわからずに聞いた言葉を繰り返しているようです。</p>
<p>(5-6シーン1② 迷子かな? ↓ CBを使ってみて「待つ」)</p>	<p>19</p> 	<p>こんなときに、コミュニケーションボードも使ってみてください。 ※CBを使って講演者が実演またはイラストで説明する。 e「待つ」(ボードを指さして:緑のバンダナを付けた人)</p>
<p>(5-7シーン2① 迷子かな? ↓ CBを使ってみてもだめ(どこかに行こうとする)</p>	<p>20</p> 	<p>ところが、コミュニケーションボードで「待つ」を指さしても、どんどん行ってしまふことがあるかもしれません。 コミュニケーションボードでうまく伝わらない場合もあります。知的障害のある方全員が、このコミュニケーションボードでやり取りできるわけではありません。 そんな時は、具体的な言葉やジェスチャーで表現してみると伝わるかもしれません。 また、「ここで待っていてね」といった抽象的な言葉は理解できないことがあります。</p>

構成	パネル	シナリオ
<p>(5-9シーン2②)</p> <p>迷子かな？ ↓ 具体的な行動を伝えてみて (シートで待つ)</p>	<p>21</p> <p>具体的に伝えてください</p>  <p>このシートの上に来てください</p>	<p>(※指さしながら)「このレジャーシートに座っていて下さい」と言って、場所を具体的に決めて指さすといった方法で伝えてみてください。</p> <p>一度ではうまくいかないかもしれません。その人のわかる方法を探していただけると幸いです。</p>
<p>(5-10)</p> <p>* 大切な情報を伝える時 ↓ いろいろな方法で)</p>	<p>22</p> <p>大切な情報は、言葉・文字・絵など いろいろな方法で伝えてください</p> <p>・ご自分用のカードを持っている人もいます</p> <p>・手話や筆談、文字盤を使う人もいます</p> 	<p>ご自分用のカードを持っている人もいます。</p> <p>セイフティーネットプロジェクト横浜では、ボードのイラストを一人ひとりにあうように編集できるようにもしています。</p> <p>障害によっては手話、筆談、このような文字盤を使う人もいます。</p> <p>表示が見えない人や音が聞こえない人、文字やことばがわからない人もいます。</p> <p>大切な情報は、文字と絵、ことばの3つの方法で伝えてください。模造紙やホワイトボードがあると便利です。</p>
<p>(5-11)</p> <p>(2)並ぶことや待つことが苦手な人がいます</p>	<p>23</p> <p>並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら…</p> <p>並んで待つことが難しい人もいます</p> 	<p>また、並ぶことや待つことが苦手な人がいます。状況の理解ができない時です。</p> <p>避難場所のトイレなど、皆が並んで順番を待っているのに、突然横入りする人もいます。知的障害等がある人の中には、並んで待つことが難しい人もいます。</p>
<p>(5-12)</p> <p>↓ 具体的な行動で示してください)</p>	<p>24</p> <p>並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら…</p> <p>○列の後ろへ案内して「ここに並んでください」と伝えるなど具体的な行動を示してください</p> 	<p>そんな時には、列の後ろへ案内して「ここに並んでください」と伝えるなど、具体的な行動を示してください。</p> <p>しかし、それでも混乱している場合は、順番を譲っていただければと思います</p>

構成	パネル	シナリオ
<p>(5-13)</p> <p>(3) 気になる行動をしているけど</p>	<p>25</p> <p>気になる行動をしている人がいたら…</p> <p>刺激に対する過敏さ → 強い不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人混み ・まぶしい光 ・大きな声や音 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声 ・手を打ち続ける ・自分を叩く…など  <p>25</p>	<p>知的障害や自閉症等の人は、人ごみや大きな声や音、まぶしい光で神経を強く刺激され、不安を強くすることがあります。</p> <p>また、大きな声をだしたり、手をパチパチ打ち続けたり、ピョンピョン跳ねたり、自分の頭を叩く…といった少し不思議な行動で気持ちを安定させようとする場合があります。</p>
<p>(5-14)</p> <p>↓</p> <p>見守り、静かな場所へ移動</p>	<p>26</p> <p>気になる行動をしている人がいたら…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しばらくは静かに見守ってください ○静かな場所に移動して落ち着くまで見守ってください  <p>26</p>	<p>今言ったような気になる行動をしている人がいたら、危険がなければ、しばらく静かに見守ってください。</p> <p>また、混乱が大きいときには、静かな場所に移動させていただいて、落ち着くまで見守っていただければと思います。</p>
<p>(5-15)</p> <p>↓</p> <p>大声での静止、身体に触れないで</p>	<p>27</p> <p>大声で叱ったり 身体に触って静止するのは逆効果です</p> <ul style="list-style-type: none"> × 大声で叱る × 突然 × 身体に触る  <p>27</p>	<p>「静かにしなさい」「やめなさい」「ダメ」と大きな声で叱ったり、身体に触って制止するのは、不安感を強くしてしまうので、逆効果です。</p>
<p>(5-16)</p> <p>(3) 通路を確保してください</p>	<p>28</p> <p>通路を確保してください</p> <p>通路が狭かったり 段差があると 身動きがとれないことがあります</p>  <p>28</p>	<p>また、杖で移動される視覚障害の人や車いすの人は、通路が狭かったり、段差があると、身動きがとれないこともあります。</p>

構成	パネル	シナリオ
<p>(5-17) ↓ 幅、通路に物を置かない)</p>	<p>29</p> <p>通路を確保してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車イスが通れる幅(90cm)以上 ○通路にはものを置かないでください  <p>29</p>	<p>避難場所の通路は、車イスが通れる幅、90cm以上(メジャーで90センチを示してみる。)を確保いただき、通路にはものを置かない等、開設の時点で配慮いただければより安心です。</p> <p>なお、知的障害だけではなく、精神障害など様々な障害のある人の特徴を掲載した資料を配らせていただいています。後で、お読み頂ければと思います。</p>
<p>(5-18 一人ひとり配慮の必要なことは違う)</p>	<p>30</p> <p>必要な配慮はおひとりおひとり違います</p>  <p>30</p>	<p>本日お話したのはほんの一例です。</p> <p>障害のある人といってもお一人お一人が違います。いろいろな障害のことについてもっと具体的に知りたい方は、終わったらお声がけください。わかりやすいパンフレットもありますので、資料のご紹介をいたします。</p>
<p>6地域の障害関係団体や関係機関の紹介</p>	<p>31</p> <p>私たちの活動を紹介します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練への参加 ○普段から顔見知り <p>31</p>	<p>最後に、私たちの活動を紹介します。</p> <p>※それぞれのグループで、ご本人達が自分のことを伝えたり、普段の様子がわかる(作業所など)もの(写真や作品など)を紹介する等、工夫をしてください。</p> <p>これから防災訓練等に参加するかもしれませんので、どうぞよろしくお願いします。もちろん、災訓練ではなくても普段の活動場所においていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。※他、ご自分達が地域の方へ伝えたいことをインフォメーションする。</p>
<p>7 終了の挨拶</p>	<p>32</p>  <p>32</p>	<p>これで終了します。</p> <p>お話を聞いてくださってありがとうございます。</p>